



2021年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年11月9日
東

上場会社名 株式会社オークネット 上場取引所
 コード番号 3964 URL <https://www.aucnet.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長C00 (氏名)藤崎 慎一郎
 (役職名)取締役常務執行役員 (氏名)谷口 博樹 (TEL) 03(6440)2552
 問合せ先責任者 コーポレート部門DM
 四半期報告書提出予定日 2021年11月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第3四半期の連結業績(2021年1月1日~2021年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	27,263	72.9	4,797	73.8	5,013	82.5	3,049	88.3
2020年12月期第3四半期	15,763	6.5	2,760	50.7	2,746	47.0	1,619	69.0

(注) 包括利益 2021年12月期第3四半期 3,264百万円(105.6%) 2020年12月期第3四半期 1,587百万円(42.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第3四半期	109.89	108.95
2020年12月期第3四半期	58.58	58.06

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第3四半期	37,078	22,155	58.8
2020年12月期	33,280	19,637	58.1

(参考) 自己資本 2021年12月期第3四半期 21,794百万円 2020年12月期 19,324百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	10.00	—	11.00	21.00
2021年12月期	—	19.00	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	—	—	19.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日~2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,655	52.2	5,600	51.1	5,756	58.0	3,471	83.0	124.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年12月期3Q	27,952,900株	2020年12月期	27,863,500株
② 期末自己株式数	2021年12月期3Q	140,516株	2020年12月期	147,316株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年12月期3Q	27,753,340株	2020年12月期3Q	27,653,327株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルスの影響による厳しい状況のなか、感染拡大の防止策を含めた各種政策等により持ち直しの動きがみられるものの、引き続き国内外の感染症の動向や金融資本市場の変動等を注視する必要があります。このような状況において、当社は、「あしたの流通を創造する」をブランドステートメントと掲げ、BtoBビジネスに係る仲介を行う情報流通のみならず、競争力のある付加価値を伴った商品及びサービスを提供する情報流通のための施策を推進し、社会的価値、経済的価値の更なる向上に努めております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は27,263,383千円（前年同期比72.9%増）、営業利益は4,797,056千円（前年同期比73.8%増）、経常利益は5,013,436千円（前年同期比82.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,049,687千円（前年同期比88.3%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

前連結会計年度より、ブランド品オークション等の事業規模拡大に伴いセグメントを変更しております。従来、ブランド品、中古バイク及び花きのオークション事業で構成されていた「その他情報流通事業」セグメントを廃止し、ブランド品オークション事業を新設の「コンシューマープログラム事業」セグメントに、中古バイク及び花きのオークション事業を従来の「その他」セグメントへ集約しています。

以下の前年同期比較につきましては、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較していません。

(四輪事業)

当事業は、中古車オークション（※1）、共有在庫市場（※2）、ライブ中継オークション（※3）、落札代行サービス（※4）及び車両検査サービス（※5）等で構成されています。

当事業と関連の深い自動車業界では、当第3四半期連結累計期間の新車登録台数（※6）は、前年同期比2.3%増の348万台、中古車の登録台数（※7）は、同0.0%減の517万台、中古車オークション市場の出品台数（※8）は、同1.2%増の536万台、成約台数（※8）は、同8.6%増の364万台となりました。

第2四半期までと同様、半導体不足による新車の長納期化やメーカーの減産等による新車供給不足により、中古車需要の高まりは続いておりますが、第3四半期に入り、中古車の供給不足がより顕著な状況となりました。こうした状況下において、中古車オークションの成約台数、及びライブ中継オークション、落札代行サービスの落札台数は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により大幅に落ち込んだ前年同期を上回ったものの、低い水準となりました。

車両検査サービスにおいては、市況の影響を受け、現車会場受託及び自社開催のオークション検査台数は鈍化した一方で、第2四半期に引き続き中古車情報雑誌掲載の検査台数は好調に推移し、セグメントの売上及び利益に貢献しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は（セグメント間の内部売上高を含む）9,148,701千円（前年同期比5.1%増）、営業利益は2,892,206千円（前年同期比10.2%増）となりました。

（※1）中古車オークションとは、当社が主催するオンラインで行う会員制のリアルタイムの中古車オークションのことです。

（※2）共有在庫市場とは、当社の会員ネットワークを活用し、会員が所有する中古車店頭在庫の情報を会員間で共有し取引する市場のことです。

（※3）ライブ中継オークションとは、当社が業者間取引の市場である現車オークション会場と提携し、現車オークション会場が主催するオークションを中継するサービスのことで、

（※4）落札代行サービスとは、株式会社アイオークが業者間取引の市場である現車オークション会場等に出品される中古車の落札・出品・決済・輸送の代行を行うサービスのことで、

（※5）車両検査サービスとは、株式会社AISが出品車両の検査及び車両検査技能に関する研修を行うサービスのことで、

（※6）一般社団法人日本自動車販売協会連合会統計資料より

（※7）一般社団法人日本自動車販売協会連合会統計資料及び一般社団法人全国軽自動車協会連合会の統計資料より

(※8) ユーストカー総合版+輸出相場版より

(デジタルプロダクツ事業)

当事業は、中古スマートフォン・中古PC等の中古デジタル機器のオークション及び流通に付随するサービスで構成されています。

国内事業では、新型スマートフォン発売前の買い控えにより、第2四半期までの流通台数増加傾向からはやや落ち着きつつあるものの、第3四半期(3ヶ月間)の流通台数は前年同期を上回る結果となりました。また、これまで注力してきた海外バイヤー網の拡大等による販売力強化が奏功し、端末単価が高値を維持できたことに加え、オペレーション業務効率化やコスト見直し対応等により、利益率が大きく改善しました。

米国事業については、商品化ビジネスを中心に赤字幅を縮小させてきたものの、新型コロナウイルス拡大による渡航制限等の影響に加え、オペレーションセンターが所在する地区において、人件費ほか事業維持コストが高騰している等、ビジネス環境が大きく変化していることが要因となり、10月末にて現行事業の一旦見直しを決定しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は5,353,318千円(前年同期比25.0%増)、営業利益は3,010,151千円(前年同期比66.6%増)となりました。

(コンシューマープロダクツ事業)

当事業は、ブランド品のオークション及び消費者向けを含む流通に付随するサービスで構成されています。

B2B事業は、オンラインオークションの需要が引き続き強く、相場の高騰による平均成約単価の上昇もあり、国内及び海外の取扱高が拡大しました。規模拡大とオペレーション業務効率化のために行ったセンター移転及び人員増加によりコストは増加したものの、当第3四半期連結累計期間は前年同期で増益となりました。

C向け事業は、前年10月に連結子会社化した株式会社ギャラリーレアの事業が好調に推移していることに加え、PMIによるコスト管理の徹底等もありセグメント利益に貢献しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は10,451,134千円(前年同期比980.7%増)、営業利益は921,685千円(前年同期比154.8%増)となりました。

(その他)

当事業は、中古バイク及び花きのオークション、医療関連事業及び海外事業等で構成されています。

当第3四半期連結累計期間の売上高(セグメント間の内部売上高を含む。)は2,700,470千円(前年同期比18.2%増)、営業損失は167,882千円(前年同期は営業損失255,799千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて3,797,362千円増加し、37,078,185千円となりました。これは主に、現金及び預金が2,990,643千円、たな卸資産が264,846千円、オークション貸勘定が1,132,054千円増加したものの、その他の無形固定資産が258,351千円、投資その他の資産が388,188千円減少したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて1,279,263千円増加し、14,922,400千円となりました。これは主に、オークション借勘定が1,146,935千円、未払法人税等が358,975千円、その他の引当金が125,898千円増加したものの、その他の流動負債が364,999千円減少したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて2,518,098千円増加し、22,155,784千円となりました。これは主に、利益剰余金が2,212,770千円、その他有価証券評価差額金が163,461千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2021年8月10日に公表している業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,776,386	19,767,029
受取手形及び売掛金	1,185,487	1,176,273
たな卸資産	1,774,274	2,039,120
オークション貸勘定	4,253,161	5,385,215
その他	1,935,683	1,937,740
貸倒引当金	△126,899	△63,236
流動資産合計	25,798,093	30,242,144
固定資産		
有形固定資産	1,575,973	1,651,768
無形固定資産		
のれん	790,350	714,407
その他	1,250,362	992,011
無形固定資産合計	2,040,713	1,706,418
投資その他の資産	3,866,043	3,477,854
固定資産合計	7,482,729	6,836,041
資産合計	33,280,823	37,078,185
負債の部		
流動負債		
買掛金	827,655	758,686
オークション借勘定	7,032,946	8,179,882
未払法人税等	1,032,073	1,391,049
その他の引当金	187,203	313,102
その他	1,586,028	1,221,028
流動負債合計	10,665,908	11,863,748
固定負債		
退職給付に係る負債	1,744,261	1,786,137
株式給付引当金	124,282	144,534
その他の引当金	20,508	10,635
その他	1,088,177	1,117,344
固定負債合計	2,977,229	3,058,652
負債合計	13,643,137	14,922,400
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,765,614	1,805,516
資本剰余金	6,815,614	6,852,867
利益剰余金	10,742,310	12,955,081
自己株式	△241,056	△229,927
株主資本合計	19,082,483	21,383,537
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	216,400	379,862
為替換算調整勘定	△5,002	5,733
退職給付に係る調整累計額	30,333	25,175
その他の包括利益累計額合計	241,731	410,771
非支配株主持分	313,471	361,475
純資産合計	19,637,686	22,155,784
負債純資産合計	33,280,823	37,078,185

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年9月30日)
売上高	15,763,930	27,263,383
売上原価	6,666,397	14,508,670
売上総利益	9,097,532	12,754,712
販売費及び一般管理費	6,337,339	7,957,656
営業利益	2,760,193	4,797,056
営業外収益		
受取利息	52,206	3,276
受取配当金	37,740	41,282
為替差益	—	148,981
貸倒引当金戻入額	—	30,785
その他	25,982	36,262
営業外収益合計	115,929	260,588
営業外費用		
支払利息	809	791
為替差損	87,314	—
持分法による投資損失	891	10,566
貸倒引当金繰入額	40,322	—
保険解約損	—	25,548
その他	256	7,302
営業外費用合計	129,594	44,208
経常利益	2,746,528	5,013,436
特別利益		
抱合せ株式消滅差益	34,094	—
投資有価証券売却益	—	90,975
その他	617	17,096
特別利益合計	34,712	108,072
特別損失		
債権譲渡損	—	30,218
関係会社株式評価損	8,624	—
事業整理損	—	13,592
その他	—	10,378
特別損失合計	8,624	54,189
税金等調整前四半期純利益	2,772,616	5,067,318
法人税等	1,126,607	1,972,275
四半期純利益	1,646,009	3,095,043
非支配株主に帰属する四半期純利益	26,138	45,355
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,619,870	3,049,687

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	1,646,009	3,095,043
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△40,330	163,461
為替換算調整勘定	△10,599	10,736
退職給付に係る調整額	△7,591	△5,157
その他の包括利益合計	△58,521	169,040
四半期包括利益	1,587,487	3,264,083
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,561,348	3,218,727
非支配株主に係る四半期包括利益	26,138	45,355

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	四輪事業	デジタル プロダクツ 事業	コンシュー マープロダ クツ事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	8,590,298	4,283,272	967,088	13,840,660	1,923,269	15,763,930	—	15,763,930
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	112,874	—	—	112,874	362,186	475,060	△475,060	—
計	8,703,172	4,283,272	967,088	13,953,534	2,285,456	16,238,990	△475,060	15,763,930
セグメント利益 又は損失(△)	2,624,994	1,806,484	361,693	4,793,171	△255,799	4,537,372	△1,777,178	2,760,193

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、中古バイク及び花きのオークション、医療関連事業及び海外事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,777,178千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,777,178千円で、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「コンシューマープロダクツ事業」において、株式会社ギャラリーレアの株式取得に伴い、当第3四半期連結会計期間より、同社を連結の範囲に含めております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては779,523千円であります。

「その他」において、株式会社東京砦花き園芸市場の株式取得に伴い、当第3四半期連結会計期間より、同社を連結の範囲に含めております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては42,964千円であります。

当第3四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	四輪事業	デジタル プロダクツ 事業	コンシュー マープロダ クツ事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	9,048,732	5,353,318	10,451,134	24,853,186	2,410,197	27,263,383	—	27,263,383
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	99,968	—	—	99,968	290,272	390,241	△390,241	—
計	9,148,701	5,353,318	10,451,134	24,953,154	2,700,470	27,653,624	△390,241	27,263,383
セグメント利益 又は損失(△)	2,892,206	3,010,151	921,685	6,824,042	△167,882	6,656,160	△1,859,103	4,797,056

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、中古バイク及び花きのオークション、医療関連事業及び海外事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,859,103千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,859,103千円で、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度より、ブランド品オークション等の事業規模拡大に伴いセグメントを変更しております。従来、ブランド品、中古バイク及び花きのオークション事業で構成されていた「その他情報流通事業」セグメントを廃止し、ブランド品オークション事業を新設の「コンシューマープロダクツ事業」セグメントに、中古バイク及び花きのオークション事業を従来の「その他」セグメントに集約しています。

なお、当第3四半期連結累計期間の比較情報として開示した前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントにより作成しており、前連結会計年度に開示した第3四半期連結累計期間に係る報告セグメントとの間に相違があります。